



平成 28 年 3 月 11 日

各 位

会 社 名 エバラ食品工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮崎 遵
(コード番号: 2819 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 高井 孝佳
(TEL. 045-226-0107)

自己株式の処分等に関する資金使途変更のお知らせ

当社は、平成 26 年 11 月 25 日付「自己株式の処分及び株式の売出し並びに自己株式の消却に関するお知らせ」、平成 26 年 11 月 28 日付「(変更)「自己株式の処分及び株式の売出し並びに自己株式の消却に関するお知らせ」の一部変更に関するお知らせ」、平成 26 年 12 月 3 日付「処分価格及び売出価格等の決定に関するお知らせ」並びに平成 26 年 12 月 30 日付「第三者割当による自己株式の処分における処分株式数の確定に関するお知らせ」(以下、「本件資金調達」という。)において開示いたしました調達資金の使途について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、本件資金調達において開示いたしましたとおり、栃木工場の生産設備の増強及び新設を主な目的として資金調達を実施いたしました。中長期的に拡大が見込まれる小容量・簡便調理等に対応するため、小容量のポーション容器ライン及び多品種の PET 容器に対応した PET ボトルラインへの設備投資を計画し、小容量のポーション容器ラインにつきましては、『プチッと鍋』に代表される小容量ポーション調味料が、お客様の支持を得て着実に拡大しており、必要な設備投資を進めております。

他方、国内市場において、超高齢化、世帯人数の減少、有職主婦の増加、社会の成熟化等に伴うニーズの多様化という大きな社会変化が加速度的に進展すると予想されるなか、その変化に適合するための生産体制の強化に向けて検討を進めているところ、その実現には生産体制強化に対応した物流機能の見直しが必要との判断に至りました。

このような状況であることから、調達資金の使途につきまして、生産体制強化の一端となる物流機能の見直しを先行させ、主に PET ボトルラインの設備投資に充当予定であった資金を、栃木物流センターにおける物流施設等の建設資金に充当することに変更いたしました。なお、PET ボトルラインの設備投資の時期については、将来的な生産体制強化とあわせて検討する予定であります。

2. 変更の内容

本件資金調達において開示した資金使途に関する変更は、以下のとおりです。変更箇所は____で示しております。

【変更前】

今回の第三者割当による自己株式の処分の手取概算額 325,492,000 円については、第三者割当による自己株式の処分と同日付をもって取締役会で決議された一般募集の手取概算額 2,165,922,000 円と合わせ、手取概算額合計 2,491,414,000 円について、2,491,414,000 円を平成 29 年 3 月までに当社栃木工場の生産設備への設備投資額の一部に充当する予定であります。

【変更後】

今回の第三者割当による自己株式の処分の手取概算額 325,492,000 円については、第三者割当による自己株式の処分と同日付をもって取締役会で決議された一般募集の手取概算額 2,165,922,000 円と合わせ、手取概算額合計 2,491,414,000 円について、1,280,000,000 円を平成 29 年 3 月までに当社栃木工場の生産設備への設備投資額に充当し、残額を平成 29 年 12 月までに当社栃木工場の物流施設等への設備投資額の一部に充当する予定であります。

3. 業績への影響

本件変更に伴う当社及び当社連結業績への影響は軽微であります。

以 上